

提案書評価項目一覧

評価項目		記述内容	評価の着眼点	配点
1 業務実績、経験				
1.1 体制面		(1)従業員数や関係先、及びプロジェクトメンバー以外に代替できる要員の有無	十分な従業員数や関係先、或いは、リスクに対する対策が整備されており、不慮の事故等の際のプロジェクト関係者の代替が可能なこと。	200
1.2 本業務と同種・類似業務の事業実績		(1)庁内の仮想環境構築、運用業務について、地方公共団体（特に、都道府県、政令指定都市等、拠点数が比較的多い等の類似業務）における実績	地方公共団体における仮想環境構築、運用業務等に関する十分な経験を有していること。	200
1.3 プロジェクト管理者		(1)仮想環境構築業務や、それに準ずるプロジェクトの実績・経験等 国、都道府県、政令指定都市に関する実績がある場合は、そのことが分かるように記載すること。	・仮想環境構築業務、又はそれに準ずるプロジェクトの管理の経験があること。 ・プロジェクト管理者とチームリーダーを兼ねることは問題ないが、本業務に対する体制面などを踏まえて、兼ねることの理由や、メリットなど、補足すること。	150
1.4 チームリーダー		(1)仮想環境構築業務の実績・経験等	・地方公共団体（特に都道府県、政令指定都市）における仮想環境構築業務に関する経験を有していること。 ・チームリーダーとして十分な経験を有していること。 ・プロジェクト管理者とチームリーダーを兼ねることは問題ないが、本業務に対する体制面などを踏まえて、兼ねることの理由や、メリットなど、補足すること。	150
2 システム要件の対応				
2.1 システム構築方針		(1)共通基盤システムの解釈・導入意義 (2)提案するシステムの概要（採用パッケージ・技術等の名称、コンセプト等） (3)提案するシステム構成案（ハードウェア一覧、ソフトウェア一覧） (4)提案のポイント なお、システム構成の立案にあたっては、仕様書の記載だけではなく、提案事項を加味して具体的に記載すること。	提案するシステムについて、提案理由が具体的に示されている。 本市にもたらす効果について、根拠を含め具体的に記載されていること。 効果について、コスト面や、仮想環境払出し及びシステム保守に係る効率化など、定量的、定性的な観点で記載すること。 また、ハードウェア一覧・ソフトウェア一覧は、任意の様式（A3）で別紙として添付すること。 本市が想定する、10年間以上の運用を継続することを前提とした実施計画であること。	200

提案書評価項目一覧

評価項目		記述内容	評価の着眼点	配点
	2.2 機能要件	実施必須 (1)仕様書「6.機能要件」の実現方法 (2)提案のポイント なお、各要求に対して考慮すべき点や代替案がある場合には、具体的な対応方法と効果（要求との比較優位性）を明確にすること。	仕様書別紙1「機能要求一覧」について、「回答様式1_機能要求一覧」にて対応方針が示されていること。 対応不可能としている項目については、代替案が示されていること。 代替案においては、運用上のリスクやリスク対策が示されていること。 貴社において、実現する必要がないと考え、本市の過剰な要求と思われる項目については、その理由や対策など見解が示されていること。	250
	2.3 非機能要件	実施必須 (1)仕様書「7.非機能要件」の実現方法 (2)提案のポイント なお、各要求に対して考慮すべき点や代替案がある場合には、具体的な対応方法と効果（要求との比較優位性）を明確にすること。	仕様書別紙2「非機能要求一覧」について、「回答様式2_非機能要求一覧」にて対応方針が示されていること。 対応不可能としている項目については、代替案が示されていること。 代替案においては、運用上のリスクやリスク対策が示されていること。 貴社において、実現する必要がないと考え、本市の過剰な要求と思われる項目については、その理由や対策など見解が示されていること。	250

提案書評価項目一覧

評価項目	記述内容	評価の着眼点	配点
3 業務遂行要件の対応			
3.1 作業内容・成果物・スケジュール	実施必須 (1)作業内容（案）及び成果物（案） (2)個々の作業内容における本市との役割分担（案） (3)詳細スケジュール（案） (4)提案のポイント なお、作業内容・成果物の立案にあたっては、仕様書の記載だけではなく、提案事項を加味して具体的に記載すること。	スケジュールの策定にあたっては、マイルストーン等を表現するとともに、実施事項との整合性が取れていること。 作業内容と成果物がイメージできるように、WBSレベル2相当(成果物)の作業詳細化、成果物を踏まえた詳細スケジュールを作成し、任意の様式（A3）で別紙として提出すること。 本市が課題と認識する、本業務後に実施する環境払出しに向けた、納期確保（又は可能な限りの納期短縮）の考え方が示されている。	200
3.2 プロジェクト管理要件	(1)仕様書「8.1.プロジェクト管理要件」の実現方法 (2)提案のポイント なお、各要求に対して考慮すべき点や代替案がある場合には、具体的な対応方法と優位性を明確にすること。	実際に用いる予定のプロジェクト計画書（案）を、別添資料を添付しても良い。 「仕様書 図表4」に記載の管理項目を参考に、品質、納期、コスト、体制、変更管理など、プロジェクトを確実に推進するための考え方(フレームワークなど)が具体的に示されている。 本業務における、現時点で想定されるリスクや課題がある場合、その対策案とともに示されている。（あくまでも貴社の考えであって実際にそうであるかどうかは問わない）	100
3.3 要件定義～設計・構築～テスト要件	(1)仕様書「8.2.要件定義要件」から「8.4.テスト要件」までの実現方法 (2)提案のポイント なお、各要求に対して考慮すべき点や代替案がある場合には、具体的な対応方法と優位性を明確にすること。	各種工程における品質確保の取り組みについて具体的に示されている。 より高品質な成果を得るための対策について示されている。	100
3.4 現在の課題への対応	仕様書「4.5. 現在の共通基盤システムが持つ課題への対応」に記載の課題について実現可能な対策があれば記入すること。	課題に対する見解が具体的に示されている。 課題を解消するための対策を実現するための条件がある場合、あわせて示されている。	100
3.5 移行～研修～システム稼働要件	(1)仕様書「8.5.移行要件」から「8.7.システム稼働要件」までの実現方法 (2)提案のポイント なお、各要求に対して考慮すべき点や代替案がある場合には、具体的な対応方法と優位性を明確にすること。	「別紙3_次期共通基盤システム移行要求一覧」において本市が求める事項が実現できること。 実施において前提がある場合は、具体的に示されている。 実施不可能な事項がある場合は、代替手段や実施不要と考える理由などが示されている。	100

提案書評価項目一覧

評価項目		記述内容	評価の着眼点	配点
4 構築後の見通し				
4.1 運用保守等の提案	実施必須	(1)本業務以降に予定する令和8年度以降のシステム運用保守の実施方針 (2)システム運用保守に関する効率的な進め方・費用縮減等への提案 (3)提案のポイント (4)システム稼働後にかかる以下業務において本市が負担する想定費用（構築完了後から60ヵ月）を、現時点の想定を見積もること。 ・運用支援業務 ・仮想環境払出・システム移行支援業務	運用保守を実施する場合において、実施事項や体制を踏まえて、運用保守費用の考え方が記載されている。 安定運用を実現しながら、費用を抑えるにはどのような運用が望ましいか、貴社の考えが具体的に示されている。 貴社、本市双方で効率的な運用を実現するための提案が、メリット、デメリットとともに示されている。 運用保守など、本業務終了後に関する事項の参考見積が示されている。	600
5 ワーク・ライフバランス等を推進する取り組み				
5.1 ワーク・ライフバランス等を推進する取り組み		次の取り組みについて、該当する事項がある場合記載すること。 ・次世代育成支援対策推進法（平成15年法律第120号）に基づく認定「くるみん認定」「プラチナくるみん認定」の取得。 ・厚生労働省のポジティブ・アクション普及推進に賛同する企業として、女性活躍推進の宣言状況。 ・女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（平成27年法律第64号）に基づく認定「えるぼし認定」「プラチナえるぼし認定」の取得。	・該当する事項が記載されていること。	100
合 計				2,700